

全斗煥来日阻止!

9.5

全斗煥来日阻止

京都総決起集会



京都労働者実行委員会

集 会 構 成

- ・司会開会あいさつ（自立労連書記長）
- ・連帯あいさつ
- ・全金港合同
- ・関西地区生コン支部労組
- ・関西韓国政治犯救援センター
- ・講演 在日韓国青年同盟（金敬一氏）
- ・基調提起（京労実事務局）
- ・八・二八〜九・一ハンスト闘争報告
- ・争議組合の紹介・支援要請
- ・紹介
- ・カンパ要請（洛南戦労研）
- ・各団体決意表明
- ・全斗 来日阻止！京都行動実行委
- ・同大反戦連絡会議
- ・トマホーク阻止！京都連絡会議
- ・全斗 来日阻止！署名実行委員会
- ・戦争問題を考える会
- ・全金規模別共闘会議
- ・洛南労働者政治委員会
- ・洛南労組連
- ・集会決議
- ・スローガン採択
- ・インターナショナル
- ・デモ出発



全斗煥来日阻止!

京都総決起集会

基調

すべてのたたかう労働者・学生・市民のみなさん！
つて全斗煥政権の支配も大きく揺らいでいます。

明日九月六日、日本政府は、韓国大統領全斗煥を「国賓」として来日させ、日韓首脳会談、天皇会談をおこなおうとしています。そして、戒厳令の予行演習もかねた大警備体制をしき、たたかう在日朝鮮人・韓国人団体、日本人団体への弾圧と監視を強化しています。

八〇年五月、軍事クーデターを組織し、韓国光州市において二〇〇〇名以上の労働者人民を殺して権力を握つた全斗煥は、すさまじい軍事独裁支配をおこなつてきました。労働者人民の基本的な権利は認められず、言論・出版への弾圧がくり返され、多くの良心的な人々が政治犯として投じられています。私達は、次の理由からこのような全斗煥来日と天皇会談に断固として反対します。

第一に、全斗煥来日は、危機にたつ全斗煥政権にテコ入れし、韓国に対する日本の新たな植民地支配をより強化しようとするものだからです。全世界に先がけて全斗煥を支持し、この独裁者を強力に支援しつづけてきたのはアメリカであり、そして日本です。日本政府は八〇年五月には世界中に最初全斗煥政権の支持を表明し、八三年一月の中曾根訪韓時には全斗煥に対し「四〇億ドルの経済援助」を約束しました。

第二に、天皇―全斗煥会談によつて戦前の植民地支配と現在の事実上の植民地支配が正当化されようとしているからです。一〇〇万人にのぼる朝鮮人の強制連行をはじめ三六年間にわたる残虐な植民地支配の歴史が、天皇の一言でどうして消去することができるのか。天皇―全斗煥会談は、過去の植民地支配を正当化するだけでなく、天皇の名によつて全斗煥政権の擁護と朝鮮侵略戦争に日本労働者人民を動員しようとするものです。また、このような天皇の政治登場自体、「戦後政治の総決算」をかけた侵略と戦争の道に労働者人民を統合しようとするものです。

第三に、全斗煥来日は、日米韓軍事同盟を狙うものだからです。本年六月、アメリカは巡航核ミサイル・トマホークの極東配備を強行しました。核トマホークは先制攻撃用の核兵器であり、それはソ連にむけられているだけでなくアジアの民族解放闘争に核の脅威でおどしをかけるものであり、とりわけ朝鮮半島での軍事的緊張を高めるもので

あります。トマホークの配備や、この間あいついでいる朝鮮半島を仮想戦場とした一大軍事演習などと、全斗煥の来日は密接に結びついています。レーガン・中曾根・全斗煥は、日米韓を結ぶ反共軍事同盟を強化することにやつきになつています。彼らはいま、日米・米韓に比べると比較的弱い日韓の間の直接的な軍事体制をつくりあげていくことが必要となつています。自衛隊の朝鮮半島への派兵や、米日韓による海峡封鎖行動が現実のものになるうとしています。

現在韓国は、世界第四位の四一四億ドルにのぼ

私達はこのような反動的ねらいをもつ全斗煥来日を絶体に許すわけにはいきません。韓国労働者は八〇年五月光州市において、全斗煥の軍事クーデターと大虐殺に反対して武器をもつて立ちあがり、短期間ではあれ、光州に人民の権力を打ち立てました。この光州蜂起以降も死を賭して全斗煥政権とたたかいつづけてきました。そして、全斗煥軍事独裁政権を打倒するには、全斗煥を支える米日両帝国主義の支配を打倒しなければならぬことを確信し、日本労働者人民の決起を呼びかけました。韓国労働者人民はいま、全斗煥訪日の反動的目的を見ぬき、激しい訪日反体斗争にたちあがっています。韓国キリスト教学生総連盟、韓国キリスト青年協議会、韓国キリスト教教団長会議、韓国民主化推進協議会、民衆運動協議会など数多くの団体が訪日反対声明を発表しました。なかでもキリスト教学生連盟とキリスト教青年協議会は、全斗煥の訪日は「反民族的な売国外交行脚である」と厳しく批判し、「日本の支配層の帝国主義的侵略根性は本質的に変つていない」「戦犯天皇との会談に反対する」と宣言しました。そして、八月一五日の学生集会では、日章旗が焼き払われ、全斗煥訪日反対をかけた学生デモが機動隊と激しく衝突し、たたかいは韓国全土に燃え広がっています。

この韓国労働者人民のたたかいに連帯し、全斗煥来日を全力で阻止しようではありませんか。全斗煥政権を支え韓国を支配する日本帝国主義のもとで生きる私達にとつて、韓国労働者人民との連帯とはなによりも日本帝国主義の韓国に対する新たな植民地支配とたたかうことにあります。全斗煥政権を支える日本の資本家どもを打倒し、労働者階級の権力をつくりだしていくことが求められています。

そのためにも、今春反トマホーク闘争に示される反戦反核のたたかいの盛りあがりや、「日本の平和と安全」のみをこい願うものへと閉じこめ腐らせるのではなく、全斗煥来日阻止斗争をとりし、韓国労働者人民との国際的連帯をめざし、日本の侵略戦争準備とたたかうものへと発展させていかねばなりません。

この重大な時にあたつて、私達は社会党―総評、日共の誤りに反対し、京労実の新たな発展を全力でつくりだす必要があります。社会党は、全斗煥来日をめぐつて賛否両論を噴出させ、ようやく七

月に至つて「来日反対」の態度を決めました。しかしその理由たるや、日本による新たな植民地支配への批判・全斗煥政権への批判・韓国労働者人民との連帯について一言もふれず、ただ分裂国家の一方だけを招くことに反対するといふものです。安保―自衛隊を容認するニュー社会党路線のもとで社会党は全斗煥政権の支持へと大きくふみ出したと言えます。

また本年五月には総評副議長はじめ多くの総評幹部が訪韓し、全斗煥政権と韓国御用労組「労働総同盟」から大歓迎されました。そして八月全通大会には韓国御用労組代表が招待され、九月には全通委員長、全電通委員長が訪韓します。全斗煥来日を契機に総評もまた韓国御用労組との結合をいつきに深めようとしています。同盟―JCOとの右翼的労戦統一を推進する総評指導部のこの動きは、右翼的労戦統一が労働運動そのものを侵略と戦争に動員するものであることがますます明らかになりました。

日共は全斗煥来日に反対していますが、その理由は全斗煥のような軍事独裁が来日すると日本の平和と安が脅やかされるという反動的なものです。韓国労働者人民と連帯し日本による新たな植民地支配とたたかうこと否定する点では、日共も社会党とかわりません。

私達京労実はいまだ社会党―総評の枠内にいる戦闘的労組労働者の広範な結集をもちと、京労実の更なる拡大と発展をめざしてたたかうことがいつそう求められています。京労集は今回をはじめ、円山公園の一日の集会だけではなく、八月二八日―九月一日までのハンストをたたかいぬくことができました。この成果を総結集し、全斗煥来日阻止にむけて最後までたたかいぬこうではありませんか！韓国では今この時も全斗煥訪日阻止にむけた死をも恐れぬたたかいが組織されています。たたかう韓国労働者人民、そして決死的なハンスト闘争をもつてたたかつてきた在日韓国人朝鮮人と連帯してたたかいぬきましょう！



中曾根政権は史上最大の警戒体制をしいて、韓国の独裁者・全斗煥を来日させ、天皇や中曾根との会談を強行しようとしている。

全斗煥の来日は「日韓両国民の友好と親善」のためにおこなわれるのだろうか？いや、絶対にそうではない！

全斗煥の来日と天皇会談は、日本帝国主義による戦前の朝鮮侵略の歴史を抹殺し、新たな侵略の強化をもくろむものだ。そればかりではない。全斗煥の来日によつて日本・アメリカ・韓国をむすぶ反共軍事同盟の強化に拍車がかかり、朝鮮半島の軍事的緊張が高まつていくこともまた明らかだ。

いま、韓国の労働者・学生たちは、全斗煥の日本訪問にいつせいに反対の声をあげて立ちあがっている。彼らは全斗煥の訪日を「反民族的な売国外交」と批判し、戦犯である天皇ヒロヒトとの会見には絶対に反対すると主張している。彼らはさらに私たち日本の労働者にむかつていう。「日本人は果してわが国民の友であり隣人なのか」と。

私たちは韓国の労働者人民との国際連帯をめざす。全斗煥来日阻止闘争を私たちは、そのための大きなステップとしてたたかう。

韓国の労働者人民との真の国際連帯は、全斗煥を支える日本の資本家階級とのたたかいをぬきにしてはありえない。

ふたたび朝鮮半島を軍靴でふみにじり、朝鮮人民をじゅうりんしようとする日本帝国主義・中曾根政権を許すな。中曾根政権の戦争政策に加担するあらゆるエセ野党勢力、右翼的労戦統一派を許すな。

労働者階級を中軸とした広範な共同闘争で、日韓連帯の巨大な前進を切り開こう。

全斗煥来日阻止！

天皇会談粉碎！

以上決議する

一九八四年九月五日

全斗煥来日阻止！ 京都総決起集会

参加者一同



● 全斗煥来日阻止！ 天皇―全斗煥会谈粉碎！

● 日本の韓国新植民地主義支配の強化を許さないぞ！
全斗煥軍事独裁政権へのテコ入れを許さないぞ！

● 米日韓軍事同盟の強化を粉碎するぞ！
トマホーク極東配備阻止！

● 韓国労働者人民の反米・反日・全斗煥打倒闘争に
連帯してたたかうぞ！

● 朝鮮人民の南北統一のたたかいを支持するぞ！
南北分断固定化―クロス承認策動を許さないぞ！
朝鮮・アジア人民と連帯してたたかうぞ！

● 中曾根の侵略戦争準備粉碎！
安保粉碎！ 改憲を許さないぞ！

● 中曾根政権を打倒するぞ！

● 右翼的労戦統一粉碎！ 全民労協粉碎！
臨調―行革粉碎！

● 階級的労働運動をつくりだすぞ！

● 労働者階級を中軸とする共同行動をつくりだすぞ！



インターナショナル

起てうえたるものよ 今ぞ日は近し

さめよわがはらから 暁は来ぬ

暴ぎやくの 鎖断つ日 旗は血に燃えて

海をへだてつ我等 腕結びゆく

いざ 戦わん いざ ふるい起て いざ

あ あ インターナショナル 我等がもの

いざ 戦わん いざ ふるい起て いざ

あ あ インターナショナル 我等がもの

聞け 我等がおたけび 天地とどろきて

屍越ゆる我が旗 行手を守る

圧制の壁破りて 固き我が腕

今ぞ高くかかげん 我が勝利の旗

いざ 戦わん いざ ふるい起て いざ

あ あ インターナショナル 我等がもの

いざ 戦わん いざ ふるい起て いざ

あ あ インターナショナル 我等がもの

